

番 号	5 5	区 分	町指定文化財
種 別	有形文化財	所 有 者	南木曾町
名 称	南野家住宅		
指定年月日	平成7年9月8日		
所 在 地	南木曾町教育委員会		
概 要	<p>南野家住宅は、間口10間半、奥行8間の本棟造りで、正面と背面に下屋を設けている。当初の規模は、間口7間、奥行8間の本棟造りで、前後に下屋を設け、土間の下手に別構造の下屋で馬屋を設け、全体で間口9間半、奥行8間であった。</p> <p>当該建物は、江戸時代中期の宝暦～明和期（今から250年程前）の建設で、木曾谷南部の大規模民家の代表的なものである。間取りにおいても、木曾谷を代表する木曾I型を取っている。マヤが別構造となる木曾谷南部の民家の特色が良く残っていることと、ダイドコロが2分され発展する初期の事例といえ、建築士的に貴重である。</p> <p>建て替えに伴ない、町へ寄贈され解体して部材を保管している。</p>		